

和良の郷だより

餅つき号

和良おこし
協議会発行



田んぼオーナー制度 収穫祭を開催

11月6日(日曜日)、今年度の田んぼオーナー制度、ファームトラスト制度の「収穫祭」を開催しました。



(小さな杵でお餅をついている様子)

超える方に参加いただきました。いつもの体験田んぼはあつという間に作業が終わります。さて、収穫祭では今年のお米作りや和良の稲作についてエヌシーアイ岩出会長からお話をいただきました。岩出会長からのお話にもありましたが、和良を訪れて、この地の「空気」といい塩梅の田舎を感じて楽しんでもらいたいです。マチでは体験できないことがここにはたくさんあります。言葉では言い表せないものも多くあります。それが岩出会長の話された空気を感ずることではないかと思えます。酒井さん

田んぼオーナー制度は6月の田植えから始まり、8月の草取り、10月の稲刈りを体験していただきました。おかげさまで毎年参加者が増えつつあり、今年度の参加組数は今までで一番多く、田植えや稲刈りなど人気の体験には百名を



(もち米を蒸している様子)

からお米作りについての歴史やお話を聞いて、いよいよおもちつきです。

古来からおもちつきは「子孫繁栄」や「一族の繁栄」を願うための行事であったり、祝い事にも行われていました。

この日は、今年の収穫と皆さんの健康を祝っておもちつきを行いました。初めて体験する人や、何度か町内会や保育園などの行事でおもちつきをしたことがある人もいました。かまどで蒸しているところを見るのは珍しいと話された方もありました。ついたお



(振りかぶって...)



(餅つき記念ポーズ)

餅は、きなこ、あんこ、磯辺餅などにして、みんなで作りました。おいしいからと何度も何度もお代わりをしてくれたり、口いっぱいにはおぼる姿、楽しそうな笑顔にあふれた一日となりました。

それぞれのお米はお家にお持ち帰りいただきましたが、さっそく新米を食べておいしかったと感想も送ってくれました。帰り際に「来年もお願います」の言葉もたくさんいただきました。スタッフも笑顔いっぱいの一日となりました。ありがとうございました。



(つきたての柔らかなお餅)

和良鮎まつり 開催

10月30日(日)、3年ぶりに「和良鮎まつり」が開催されました。当日は秋の日というのに風もなく穏やかな暖かい日となりました。

施設内では、各団体や個人による展示や物販が開催され、またステージ上では地域の方とプロアーティストによるパフォーマンスが行われ、特に「郡上陣屋組」の太鼓演奏は圧巻でした。和良おこし協議会のブースへ移住相談に訪れていただいたり、活動の展示をご覧いただきありがとうございました。屋外では、「和良鮎」をはじめ、和良と西和良を中心としたブースやフードトラックも並びました。また、野外ステージでは、各地から駆け付けてくれたミュージシャンによるパフォーマンスで大いに盛り上げていただきました。



(屋外の様子)

町屋オイテナール 出展

11月19、20日に郡上八幡で開催された町屋オイテナールに出展しました。

出展ブースでは和良の空気を感じていただけるとの声を頂きました。2日目には和良の塩焼き、いそばんの販売もあり、多くの方にお越しいただきました。移住相談に来られた方もあり、賑やかな2日間となりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

《展示、販売の内容》

- 和良町移住相談・空き家情報
- 和良おこし協議会 活動展示グッズ販売
- 和良を守る会 活動展示グッズ販売
- 和良町特産品などの販売
 - ・ 奥美濃マッシュエ(有機しいたけ)
 - ・ 道の駅和良ちんちろ屋商品(みそなど)
 - ・ 和良町物産販売(お米、野菜など)
- 和良を守る会(和良の塩焼き販売)
- ※20日のみ
 - いそばん(自家製酵母パン)
 - ※20日のみ
 - わらボボハウス(コーヒー試飲)
 - Walatte. 鼻笛 Club(鼻笛の販売)



(ブース内展示の様子)



(和良の塩焼き販売)

古民家を改修

11月5日(土)、第一回目の古民家改修ワークショップを開催しました。この企画は自分で自宅を改装しようと考えていたり、田舎暮らしをしたいと考えている人へ向け開催したワークショップです。

第一回目のこの日は壁、天井などの内装の解体方法を学びながら、実際に作業をしました。講師は岩尾建築 岩尾誠氏と池戸電気商会 池戸祐芳氏が務めました。

作業方法や注意事項を聞いた後、参加者は早速作業にかかります。昭和の時代に増改築された壁や天井を取り除いていくと、古民家らしい梁などが現れてきて、作業する人たちのテンションも上がってきます。思わぬ構造に戸惑いながらも一日をかけてほぼ作業を終了することが出来ました。

改修された古民家は和良に移住してきた地域おこし協力が、ゲストハウス&カフェとして開業することを目指しています。いよいよいそばんの田舎にたくさんの人を迎えられるように、今後も漆喰施工、床貼りなど、古民家再生のワークショップ開催を予定しております。



(解体中の様子)



(姿を現した梁)

純米酒 和良おこし

田んぼオーナー制度とファームトラスト制度も、先日収穫祭を終えて本年度の両制度もひと段落となりました。

今年も両制度の中で生まれたお酒、「純米酒 和良おこし」を仕込んでいただきます。和良の美味しいお米「奥美濃清流米(コシヒカリ)」を使ったお酒ですが、これがなかなか高評価をいただきました。お酒造りはエヌシーアイ岩出さんと懇意の蔵元である笹井酒造さん(長野県松本市)に引き受けていただいております。いつの日か和良の水で、郡上で仕込んだものを飲んでみたいですね。今年のラベルは昨年とはカラーを変えたものを用意します。

このお酒は両制度にご参加いただいた方へ、ご希望の方にお渡ししております。他にもご興味のある方がおられましたら、和良おこし協議会までご連絡ください。

昔ながらの美しい農村風景を次世代まで残して行きたい和良の郷で育まれた奥美濃清流米から生まれた皆の想いが詰まったお酒です



(今年の新しいラベル)

イベント掲示板

岐阜県郡上市和良町にムササビをみいこう。

キャプテンジョージと行く
ぼんどり探検隊
2022/12/10(土)

和良町ではムササビのことを「ぼんどり」とも呼びます。ぼんどり(オジロムササビ)は日本にのみ生息しています。当日はぼんどりたちがどんな生活をしているのかを、生態館を観察します。意が負ければお土産ももらえますよ。

予約はこちら

参加費	おひとり様 2,000円	予約受付期間	15:00 受付開始
集合場所	和良おこし協議会 岐阜県郡上市和良町	開演時間	15:30 入場券の配布開始
観覧	運動靴など歩きやすい服装 お天気が悪い場合は雨具 お土産、おたのしみ品 カイド、おにぎりなど軽食	開演時間	16:30 ムササビの観察
持ち物		開演時間	17:30 幕引きタイム
		開演時間	19:00 解散

【主催】和良おこし協議会
【協力】和良町、岐阜県郡上市、岐阜県自然環境部、岐阜県自然環境センター

和良町の人口

令和4年11月1日現在 (カッコ内は前月比)

